

令和4年度 事業報告

1. 法人をめぐる状況と事業概要

新型コロナウイルス感染症は、発生から3年目になった当該年度も感染の状況は収束せず当法人介護保険事業に影響を及ぼした新型コロナ感染の状況と対応は次のとおり。

(令和4年度3月理事会報告分の再掲)

※デイサービス(通所介護)利用者感染により7月度[2日間休業]・9月度[4日間休業]・12月度[7日間休業]・1月度[5日間の利用者受入制限]。

※ショートステイ(短期入所生活介護)

利用者感染により9月度[2日間の新規受け入れ中止]・12月度[5日間の新規受入中止]。

※ユニット型特養

8月28日に入居者1名の感染者が発生したのを初めにクラスター発生、入居者28名感染(21名施設内療養・7名入院うち入院先病院にて3名ご逝去)、職員25名感染。
保健所への確認と指示により9月16日に終息。

感染予防策にも限界があり、また当該感染症にはインフルエンザ蔓延防止策として予防投与が可能な経口薬等もない状況で、感染入居者の施設内療養を強いられ、職員の身体的および精神的疲労はかなり厳しい状態陥ったなかでの運営であった。

2. 業務の達成状況

令和4年度の利用率(前年)は、従来型特養 95.5(97.0)%、ショートステイ 69.9(69.7)%、デイサービス 88.0(92.3)%、グループホーム 97.7(95.3)%、ユニット型特養 92.5(91.7)%である。

上記1の報告どおり、新型コロナウイルス感染症発生のなかでの業績である。改めて全職員の職務遂行努力へ感謝申し上げる。

支出(経費)においては、やはり機械設備をはじめに各種什器の老朽化による故障等が相次ぎ、支出を抑制することが困難であった。また、物価高騰で特に影響をうけた電気・ガス料金は前年比117%で、額にして約420万円の経費増となった。